

シネラ

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

おいしい結婚
写真提供 東宝

九州・沖縄から



文化力
POWER OF CULTURE

特別企画

平成18年度(第61回)
文化庁芸術祭主催公演

九州・沖縄から文化力

映画に描かれた 九州・沖縄

文化庁主催の芸術祭日本映画名作鑑賞会
今年は九州・沖縄をテーマとした名作を上映



日本女侠伝
©東映

特別企画

自主制作映画の日本最大のコンペティション「ぴあフィルムフェスティバル」
新鮮な興奮と感動の4日間

ぴあフィルム フェスティバル in 福岡



ねこのむけ



IMMEASURABLE MYSTIC BOOK



鼻唄泥棒

収蔵作品特集

日豪交流年を記念し、図書館収蔵のオーストラリア・
ニュージーランド映画の上映

オーストラリア・ ニュージーランド 映画特集



みるみ



心配しないで



逃亡

九州・沖縄から文化力

映画に描かれた九州・沖縄

10月11日(水)~15日(日)

観覧料: 600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

* 定員制。各回入替制。* チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
* 障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円(手帳の提示が必要です。)

主催: 文化庁芸術祭実行委員会 共催: 福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会 制作: 社団法人日本映画製作者連盟、協同組合日本映画製作者協会 協力: 東京国立近代美術館フィルムセンター

美しい夏キリシマ

10月11日(水)
13:00



2002年/35ミリ/カラー/111分
キリシマ 1945

監督: 黒木和雄 出演: 柄本佑、小田エリカ

© 2003 ランブルフィッシュ

1945年8月、終戦前後の宮崎県えびの市を舞台にした作品。15歳の日高康夫少年と家族を描いているが、康夫にはえびの市出身の黒木監督自身の姿が強く投影されており、撮影にも実際の黒木監督の実家が使われている。

トラック野郎 男一匹桃次郎

10月11日(水)
16:00



1977年/35ミリ/カラー/103分
東映

監督: 鈴木則文 出演: 菅原文太、愛川欽也

トラック野郎シリーズ第6作。女子大生雅子に惚れた桃次郎は、彼女を恋人に会わせるべく九州路をぶっ飛ばす。お正月映画らしく、堺正章や左とん平などが出演し賑やかな作品となった。新人の夏目雅子に注目。

復讐するは我にあり

10月11日(水)
19:00



1979年/35ミリ/カラー/140分
松竹=今村プロ

監督: 今村昌平 出演: 緒形拳、三國連太郎

直木賞を受賞した佐木隆三のノンフィクション小説の映画化。5人の人間を殺害し、全国を逃走した男の犯罪心理に迫り、人間の原罪と救済を問っている。今村監督らしい迫力ある演出と緒形拳、三國連太郎の演技が素晴らしい。

東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品 © 松竹

父

10月12日(木)
13:00



1988年/35ミリ/カラー/74分
松竹=キネマ東京=ビッグバン

監督: 木下恵介 出演: 板東英二、太地喜和子

© 松竹 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

日暮菊太郎は、県会議員に立候補したり、女子プロレスの興行に手を出したりと40歳を過ぎても夢ばかりを追いかけている。家族に苦労をかけながらも憎めない父親を板東英二が好演するコメディ。

女咲かせます

10月12日(木)
16:00



1987年/35ミリ/カラー/92分
松竹

監督: 森崎東 出演: 松坂慶子、役所広司

万引き常習犯の主人公が、貧しい音楽家に恋する。何とか彼に楽器を送ってやりたい主人公は、仲間とデパートでの強盗を企てる。森崎監督のバイタリテイ溢れる演出が楽しい。

© 松竹 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

永遠の1/2

10月12日(木)
19:00



1987年/35ミリ/カラー/101分/ディレクターズ・カンパニー=フジテレビ=ソニービデオソフトウェアインターナショナル

監督: 根岸吉太郎 出演: 時任三郎、大竹しのぶ

市役所を辞めた宏の周辺で不思議な事が起こり始める。宏とそっくりな人間が悪事を働いているらしい事を知った宏は、もう一人の自分を探し始める。生き方の定まらない男を根岸監督がクールに描く。

東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

わが愛の譜 滝廉太郎物語

10月13日(金)
13:00



1993年/35ミリ/カラー/125分
東映=日本テレビ

監督: 澤井信一郎 出演: 風間トオル、尾尾いさ子

© 東映 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

「荒城の月」などの名曲で知られ、23歳という若さで夭折した大分出身の作曲家・滝廉太郎の、没後90年を記念して作られた伝記映画。東京音楽学校時代から、ドイツ留学など滝廉太郎の青春時代と恋愛を中心に描かれていく。

おいしい結婚

10月13日(金)
16:00



1991年/35ミリ/カラー/110分
東宝=サンダンス・カンパニー

監督: 森田芳光 出演: 三田佳子、斉藤由貴

未亡人・美枝子は一人娘ののんを見合いさせようとするが、のんは会社の同僚を恋人にしたいと見合いを断ろうとする。小津安二郎の「秋日和」を思わせる設定など、森田監督のユニークな視点がさえる。

写真提供 東宝

東雲楼 女の乱

10月13日(金)
19:00



1994年/35ミリ/カラー/125分
東映

監督: 関本郁夫 出演: かたせ梨乃、南野陽子

明治末期、熊本一を誇った遊郭・東雲楼(しののめろう)を舞台に繰り広げられる女達の生き様を描いた文芸大作。5歳で遊郭に売られた娘と遊郭の主人となる先輩たちを中心に、人気女優達の華麗なる群像劇が見物。

© 東映

ウンタマギルー

10月14日(土)
11:00



1989年/35ミリ/カラー/120分
バルコ

監督: 高瀬剛 出演: 小林薫、戸川純

沖縄でよく知られる「沖縄版ねずみ小僧」ともいえる義賊伝説を、69年沖縄の日本復帰直前の時代に移して描いた意欲作。夢と現実が渾然一体となったような神話的なイメージが素晴らしい。

© PARCO/PONY CANYON

ナビの恋

10月14日(土)
14:00



1999年/35ミリ/カラー/92分
イエス・ビジョン=オフィス・シロウス

監督: 中江裕司 出演: 西田尚美、村上淳

年老いたナビが60年前の初恋相手と駆け落ちするという物語を、里帰りした孫娘の視点から描いていく。全編で沖縄民謡が彩り、まるでミュージカルのような明るい作品になっている。

© 1999 YES-VISIONS/OFFICE SHIROUS

東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

Aサインデイズ

10月14日(土)
17:00



1989年/35ミリ/カラー/111分
大映

監督: 崔洋一 出演: 中川安奈、石橋凌

実話をもとにした小説「喜屋武マリーの青春」を原案とした映画。ベトナム戦争期の沖縄を舞台にして、ロックバンドを組む若者達の青春を描いている。主題歌をモデルとなった喜屋武マリーが歌っている。

写真提供 角川ヘラルド映画

無法松の一生

10月15日(日)
11:00



1958年/35ミリ/カラー/104分
東宝

監督: 稲垣浩 出演: 三船敏郎、高峰秀子

小倉の人力車夫富島松五郎と、陸軍大尉の未亡人と二人息子の交流を描いた日本映画史に残る傑作。本作は43年に作られた作品を、稲垣監督が再びリメイクしたもの。戦前の作品と比較しても甲乙付けがたい作品。

写真提供 東宝

博多っ子純情

10月15日(日) 14:50
[トーク] 14:00~14:40



ゲストトーク: 長谷川法世(漫画家)
1978年/35ミリ/カラー/94分/エル・アイ・エル

監督: 曾根中生 出演: 光石研、松本ちえこ

長谷川法世原作漫画の映画化。思春期を迎えた中学生郷六平と、彼の仲間達の青春をコミカルに描いている。当時の博多の街で撮影がされている。

© 松竹

日本女侠传 俠客芸者

10月15日(日)
17:00



1969年/35ミリ/カラー/99分
東映

監督: 山下耕作 出演: 藤純子、高倉健

炭鉱景気にくわく明治末期の博多。馬賊芸者と評判の信次は、男勝りのきつぽと度胸の持ち主だった。信次は炭鉱で働く清吉と知り合うが、清吉の炭鉱はヤクザに狙われていた。高倉健、藤純子コンビの熱演が光る。

© 東映

ぴあフィルム フェスティバル in 福岡

10月26日(木)~29日(日)

主催:映像ホール・シネラ実行委員会
福岡市総合図書館、PFFパートナーズ

観覧料:1,000円(当日1回券)800円(前売り1回券)
4,000円(当日5回券)3,500円(前売り5回券)

*定員制。各回入替制。*障がい者・高齢者割引なし。
*前売り券はチケットぴあ(Pコード 476-440)にて販売中。

26日(木)

16:30

「鼻唄泥棒」—— 2005年/ビデオ/カラー/90分
監督:廣末哲夫 脚本:高橋泉

「自分の姉を殺した男を監禁している。」webサイトに載せられた奇妙な文章に興味を示した人々が、次々に現場を訪問し始める。廣末&高橋コンビによる話題作。

19:00

「14歳」—— 第16回PFFスカラシップ作品
2006年/35ミリ/カラー/114分
監督:廣末哲夫 脚本:高橋泉

「ある朝、スープは」(PFFアワード2004グランプリ)の高橋監督が脚本を、「さよなら、さよなら」(PFFアワード2004準グランプリ)の廣末監督が演出を行ったスカラシップ作品。PFFでプレミア上映。

27日(金)

14:00

「狂った一頁」—— 1926年/35ミリ/モノクロ
59分(サウンド版)/新感覚派映画連盟
監督:衣笠貞之助 出演:井上正夫、中川芳江

川端康成が脚本を書き、名匠・衣笠貞之助が独力で製作した日本映画史上初の自主映画。光と影を生かした斬新な映像表現。字幕なしのサイレント映画という画期的な手法で海外でも高い評価を受けた。上映するのは70年代に衣笠監督自らが音をつけたサウンド版。「パーパー吉野」が話題となり、「かもめ食堂」で大ヒットを放った衣笠監督の「私を変えたこの一本」。東京会場での衣笠監督のトークビデオも上映。

16:00

「水蒸気急行」—— 1976年/DVD/カラー/59分
監督:森田芳光

「ライプイン 茅ヶ崎」—— 1978年/DVD/カラー/77分
監督:森田芳光

「水蒸気急行」は、井の頭線、東海線、山手線、地下鉄、モノレールなどの電車の走る映像に、ラジオの天気予報、ポップなどを重ねた作品で、圧倒的な疾走感を見せた意欲作。「ライプイン 茅ヶ崎」は、茅ヶ崎で生まれ、茅ヶ崎で育った若者たちの日常が、ほとんど脈絡のない19のエピソードで綴られる。PFF入選を果たした森田監督が注目を浴びた作品。東京会場での森田監督のトークビデオも上映。

19:00

「グラウンド・ゼロ」—— PFFアワード2006音楽賞
2005年/ビデオ/カラー/70分
PG-12 監督:大泉滸

「ダイバーのリズム」—— 2004年/ビデオ/カラー/26分
監督:野沢拓郎

「グラウンド・ゼロ」は、自殺サイトで知り合った二人の若者が、毒ガスを極秘に入手し「パターンからはずれたヤツ」を殺そうと画策する物語。「ダイバーのリズム」は、台風が接近する海沿いの夜のプールを舞台に水泳部員の少年とマネージャーの少女の物語が、海風と波の音に彩られる。

28日(土)

11:00

「Catchball With ニコル」—— 2005年/ビデオ/カラー/60分
監督:浅野晋康

「まばたき」—— PFFアワード2006審査員特別賞
2005年/ビデオ/カラー/49分
監督:滝沢弘幸

「Catchball With ニコル」は兄妹二人暮らしのアパートに突然、妹のカナダ留学時代の友人が現れる物語。異文化コミュニケーションを軽妙に描いた作品。「まばたき」は、病院を抜け出し別れた妻の元に向かう老人、出産を目前に控えた母親を持つ少女など、様々な人たちが乗り合わせた一台のバスの物語。

13:30

「黒森歌舞伎」—— 2005年/ビデオ/カラー/85分
監督:木村陽亮

「IMMEASURABLE MYSTIC BOOK」—— PFFアワード2006審査員特別賞・エンタテインメント賞・GyaO賞
2005年/ビデオ/カラー/22分
監督:平沢翔太

「黒森歌舞伎〜僕が君に残したいもの〜」は山形県酒田市で江戸時代から脈々と継承される伝統歌舞伎に取り組む人たちの人生を描いたドラマ。「IMMEASURABLE MYSTIC BOOK」は、未開の島で発見された不思議な生き物たちの生態系をCGを駆使しながら描いた疑似ドキュメンタリー。

16:00

「single」—— PFFアワード2006観客賞
2005年/ビデオ/カラー/61分
監督:中江和仁

「胸騒ぎを鎮めろ」—— 2005年/ビデオ/カラー/48分
監督:横野裕

「single」は、学生時代に付き合っていた彼女に中学3年生の息子があり、息子と初めて同居生活をするようになった中年男の物語。「胸騒ぎを鎮めろ」は、真夜中のパーティーで出会った女性とデートをする青年が、不思議な運命のいたずらに翻弄される風変わりなラブサスペンス。

18:30

「盲の夢」—— 2005年/ビデオ/カラー/63分
監督:平田啓介

「hanafusa」—— PFFアワード2006審査員特別賞
2005年/ビデオ/カラー/33分
監督:甲斐博和

「盲の夢」はある若者が突然、車椅子の生活を余儀なくされる物語。そんな彼を優しく癒す盲目の青年との小旅行を描いた作品。「hanafusa」は、久しぶりに同棲相手のアパートに戻った男の話。彼女は別の男と引越しの最中だった。舞台劇のように描かれた人間模様。

29日(日)

11:00

「MIDNIGHT PIGSKIN WOLF」—— PFFアワード2006企画賞
2005年/ビデオ/カラー/51分
監督:内藤隆剛

「.doc」—— 2004年/ビデオ/カラー/40分
監督:西野芳子

「光」—— 2005年/ビデオ/カラー/13分
監督:濱本敏治

「MIDNIGHT PIGSKIN WOLF」は、親親に虐げられ続ける男が、都会へ向かう珍妙なハードボイルドロマン。「.doc」は、彼氏と同居しながら出会い系サイトでバイトをする女性の物語。サイトにハマる若者像を鋭く描く。「光」は、実家の父が病気でと元に向かい、1日帰りで帰省する弟の話。平穏な日常の変化を淡々と描きながら家族の姿を真摯に描いていく。

13:30

「ニューヘアー」—— 2005年/ビデオ/カラー/43分
監督:川原康臣

「ダム・ガール」—— 2005年/ビデオ/カラー/33分
監督:児玉和士

「はっこう」—— PFFアワード2006グランプリ
2005年/ビデオ/カラー/28分
監督:熊谷まどか

「ニューヘアー」は入院中の元仕事仲間の奇妙な遺書に従いながらドライブを続ける男女の物語。スタイリッシュな音と映像に注目。「ダム・ガール」はダム開発によって、父の故郷の村が沈んでしまった娘の愛と孤独を描いたドラマ。「はっこう」は一向に言葉発しない幼児を抱え、いらだちを募らせる専業主婦の話。不安が次第に狂気に変わっていく日常を、ラテンのリズムの中で描き出す。

16:00

「隼」—— PFFアワード2006準グランプリ・技術賞
2005年/ビデオ/カラー/73分
監督:市井昌秀

「豚足の夜」—— 2005年/ビデオ/カラー/25分
監督:金子直人

「隼」はエアコンもない古びた一軒家で生活する夫婦の物語。貧しさの果てに二人はやがて反目しあうようになる。「豚足の夜」はそれぞれがバラバラな4人の家族の絆がほころんでいく様を描いたシュールな家族劇。

収蔵作品特集 日豪交流年を記念し、図書館収蔵のオーストラリア・ニュージーランド映画の上映

オーストラリア・ ニュージーランド 映画特集

10月18日(水)~21日(土)

観覧料:500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

*定員制。各回入替制。
*チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
*障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

完全な他人たち
Perfect Strangers

2003年/35ミリ/カラー
95分/ニュージーランド
日本語・英語字幕付き
監督:ゲイリー・プレストン
出演:サム・ニール
レイチェル・ブレイク

メラニーはバーでハンサムな男性と出会う。二人で愛の巣へ行こうと誘われ、二人は小島へ向かう。しかしメラニーは彼に誘拐されたことに気が付き、脱出を試みる。「ピアノ・レッスン」のサム・ニールが10年ぶりにニュージーランド映画に出演、魅力的な男を演じている。

逃亡
Absent Without Leave

1993年/35ミリ/カラー
99分/ニュージーランド
日本語字幕付き
監督:ジョン・レイン
出演:クライグ・マクラチラン
カトリナ・ホップス

1942年、軍隊に召集されたエドは若い妻のデイジーの事が心配で軍から逃げ出す。そして彼女を遠く離れた実家まで連れて行くため、ヒッチハイクの旅を続ける。第二次大戦中の緊迫した時代を背景に、若い夫婦の心の成長を描いたドラマ。

まよい
Astray

2003年/35ミリ/カラー
29分/オーストラリア
日本語字幕付き
監督:ミッシェル・ワーナー
出演:イブ・ホワイト
デーミアン・ガーヴィー
*「心配しないで」と併映

8歳のプリンの父親は母親と別れて別の女性と同棲するという。寂しい思いをするプリンはある日捨て犬を拾う。プリンはこの犬を飼おうとするが、突然犬はいなくなってしまう。

心配しないで
No Worries

1993年/35ミリ/カラー
92分/オーストラリア
日本語字幕付き
監督:デビッド・エルフィック
出演:ジョフ・モラーリ
エイミー・テリリック
*「まよい」と併映

ベンとヘレン夫婦。一人娘のマチルダは牧場を持っていましたが、ある日猛烈な嵐が町を襲い、羊が全滅してしまいます。家族は町を出て都会で生活をはじめます。ところが広々とした田舎で育ったマチルダは都会の生活に馴染めません。次第にふさぎ込むようになるマチルダは、家を出てしまいます。オーストラリアの寂れゆく農村と、発展する都会の様子が対比的に描かれた作品です。その狭間で精神的に追い詰められる11歳の少女マチルダが本作の主人公ですが、作品全体を暖かな家族愛が包んでおり、やさしさに溢れた作品となっています。特に注目したいのは、家出したマチルダを探す仲間がベトナムなどアジアからの移民の子である点です。都会の中で傷ついたマチルダの心が移民の子供達によって癒されていく様は、オーストラリアという国のアジアとの近さをよく表しています。

10月

上映スケジュール

1 日	(11:00) 生きるために	(14:00) ザ・リザード	
2 月		休館日	
3 火		休館日	
4 水		(14:00) 冷たい涙	
5 木		(14:00) ママのお客	(19:00) 母ギラーネ
6 金	こんなに近く、こんなに遠く	(14:00) こんなに近く、こんなに遠く	(19:00) 彼
7 土	(11:00) 冷たい涙	(14:00) ママのお客	(17:00) 母ギラーネ
8 日	(11:00) 彼	(14:00) こんなに近く、こんなに遠く	
9 月(祝)	(11:00) 旅の途中で—FARDA—	(14:00) ザ・リザード	
10 火		休館日	
11 水	(13:00) 美しい夏キリシマ	(16:00) トラック野郎 男一匹桃次郎	(19:00) 復讐するは我にあり
12 木	(13:00) 父	(16:00) 女映かせます	(19:00) 永遠の1/2
13 金	(13:00) わが愛の譜 鶴岡太郎物語	(16:00) おいしい結婚	(19:00) 東雲楼 女の乱
14 土	(11:00) ウンタマギルー	(14:00) ナビの恋	(17:00) Aサインデイズ
15 日	(11:00) 無法松の一生	(14:00) ゲストーク 長谷川法世	
		(14:50) 博多っ子純情	(17:00) 日本女侠伝 俠客芸者
16 月		休館日	
17 火		休映日	
18 水		(14:00) まよい/心配しないで	
19 木	完全な他人たち	(14:00) 完全な他人たち	(19:00) 逃亡
20 金		(14:00) 完全な他人たち	(19:00) まよい/心配しないで
21 土	(11:00) 逃亡	(14:00) まよい/心配しないで	(17:00) 完全な他人たち
22 日	第14回福岡映像コンテスト		
23 月		休館日	
24 火		休映日	
25 水		休映日	
26 木	MIDNIGHT PIGSKIN WOLF	(16:30) 鼻唄泥棒	(19:00) 14歳
27 金		(14:00) 狂った一頁	(16:00) 森田芳光スペシャル
28 土		(16:00) プログラムE	(18:30) プログラムD
29 日		(11:00) プログラムG	(13:30) プログラムA
30 月		(16:00) プログラムB	
31 火		休館日	

最新イラン映画

九州・沖縄に描かれた

映画特集

in福岡

黒森歌舞伎

hanafusa

第14回 福岡市民芸術祭協賛
福岡映像コンテスト

10月22日(日) 観覧料:無料

福岡市内に限らず、県内各地から応募されてくるアマチュアによるビデオ作品のコンテストである「福岡映像コンテスト」。優秀作品には「福岡市長賞」「福岡市総合図書館賞」等の賞が贈られる。

10:30～表彰式
13:00～受賞作品上映

*時間は当日の運営により前後することがあります。

主催:福岡映像協会
共催:福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会

●お問い合わせ先
福岡映像協会
TEL 092-801-1420

次号予告

収蔵作品特集
ベトナム映画祭

60年代から現在まで、アメリカなどとの戦争の中で製作され続けてきた、ベトナム映画40年間の歴史を辿る。

11月1日(水)～26日(日) *休館日・休映日除く

●上映作品

「少女と小鳥」 1962年/監督:チャン・ヴー
「トゥー・ハウ」 1963年/監督:フアン・キー・ナム
「再会の約束」 1974年/監督:チャン・ヴー
「ハノイの少女」 1974年/監督:ハーイ・ニン
「愛は17度線を越えて」 1975年/監督:ハーイ・ニン
「おかあさんはおるす」 1979年/監督:カイン・ズー
「河の女」 1987年/監督:ダン・ニャット・ミン
「祈り」 1996年/監督:ホー・クワン・ミン
「グアバの季節」 2000年/監督:ダン・ニャット・ミン
ほか 全20作品上映

●講演会(予定)

「ベトナム映画の魅力」
～ダン・ニャット・ミン監督自作を語る～
11月12日(日)

講師:ダン・ニャット・ミン(映画監督)
ディ・ダオ物語

■ ホームページ
「うえぶシネラ」をご覧ください。

●うえぶシネラアドレス
<http://www.cinela.com>

I N F O R M A T I O N

■ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオテープ(例えば旅行、結婚式、学校行事など)の編集に利用できます。(使用料1時間500円) *詳しくは福岡市総合図書館(代表) 092(852)0600ビデオ研修室まで

■交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄:西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: *天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約20分) *博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約25分) 福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

ICAL

株式会社 アイカル

〒814-0001
福岡市早良区百道浜2丁目1-22
福岡SRPセンタービル7階
TEL 092-832-8831
URL: <http://www.ical.co.jp>



福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ

〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館

(代表) 092(852)0600
映像資料課 092(852)0608
FAX 092(852)0609
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
ホームページアドレス
<http://www.cinela.com>

